

解剖学第 2 (マクロ)

2002 年度本試験

TOKYOMD 再編集版*

2002 年 8 月 30 日 13:00 16:00

- I. 頭頸部について以下の問いに答えよ (Nomina については英語またはラテン語で解答すること)。
- (A) 中耳, 耳管の構造について述べよ。
 - (B) (1) 眼筋とその支配神経を挙げよ。
 - (2) 咀嚼筋とその支配神経を挙げよ。
- II. 上肢, 背について以下の問いに答えよ (Nomina については英語またはラテン語で解答すること)。
- (A) 鎖骨下動脈の枝とその分布について述べよ。
 - (B) (1) 固有背筋を挙げ, 支配神経を述べよ。
 - (2) 前腕の回内, 回外に関わる筋を挙げよ。
- III. 体幹部について以下の間に答えよ (Nomina を答える際は英語またはラテン語を用いること)。
- (1) 体幹の L1 の高さでの断面図を書き, それぞれの名称を記せ。
 - (2) 縦隔とは何か。また, 縦隔に含まれる臓器を記せ。
- IV. 骨盤, 下肢について以下の間に答えよ (Nomina を答える際は英語またはラテン語を用いること)。
- (1) 内腸骨動脈の分枝について記せ。
 - (2) 大腿中央部の断面図を書き, それぞれの名称を記せ。なお, 筋肉については起始, 停止, 支配神経を記すこと。(起始, 停止部については日本語でも良い。)

* 出題は I, II. は中田先生, III., IV. は金井先生, V. は田中先生。

V. 人体の発生について、次の文章の空欄(1)~(20)にあてはまる語を答えよ。ただし同じ番号の空欄には同じ語が入る。

- (A) 発生第二週は「二つの週」と呼ばれる。栄養膜は栄養膜(1)層と栄養膜(2)層の二つの層に分化する。胚結節は(3)上層と(3)下層の二つの層を形成する。胚外中胚葉は胚外(4)中胚葉と胚外(5)中胚葉の二層に分かれる。また(6)と(7)の二つの腔が作られる。
- (B) 発生第三週に起こる最も特徴的なことは原始(8)の出現で始まる(9)である。原始(8)の頭方端には原始(10)がある。この(8)および(10)域では、(3)上層の細胞が内方に遊走し、中胚葉と内胚葉を形成する。
- (C) 鯉弓は間葉組織の稜からなり、咽頭嚢と鯉溝により互いに隔てられている。第一咽頭嚢からは(11)腔と(12)管、第二咽頭嚢からは口蓋扁桃の支質、第三咽頭嚢からは下(13)と(14)、そして第四・五咽頭嚢からは上(13)と鰓後体が生じる。
- (D) 脊髄は中枢神経系の尾側端を形成し、その特徴は運動ニューロンを含む(15)板、知覚ニューロンに対する(16)板、および両側を結ぶ結合板としての腹側の(17)板と背側の(18)板があることである。脊髄領域ではSHHが神経管を腹側化し、(15)板と(17)板を誘導する。また非神経外胚葉に発現するBMP4,7が(16)板と(17)板でのPAX3,7の発現を維持し、上昇させる。
- (E) 永久腎は二つの原基から形成される。腎細管は後腎それ自体から形成されるが、集合管は(19)管の芽体である(20)芽として生じる。